



マスコミ青山

会報

Sep.2014 No.35



(NHK:HPより)

じえじえじえ〜!

10月25日(土):講演会

今年は、あの「あまちゃん」の話を聞こう!

NHK番組『あまちゃん』のディレクター

吉田照幸氏(93年法学部卒)!



今年6月、日本のテレビ界のアカデミー賞といわれる「ギャラクシー賞」の大賞を受賞したNHK朝の連続ドラマ『あまちゃん』。低迷するTV業界にあって、最高視聴率も27.0%を記録するなど一大ムーブメントを作った番組でした。なにがこれほどまでに視聴者のこころをつかんだのでしょうか。

その内実について、番組のディレクターである吉田照幸さんにお話しをお聞きます。しかも吉田さんは青山学院大学の卒業生。日本を代表するNHKのディレクター吉田さんと、ここだけの話や裏話など、楽しいひとときを過ごしましょう。

【吉田照幸(よしだ・てるゆき)氏略歴】

1969年、福岡県生まれ、山口県育ち。

青山学院大法学部卒業後、1993年NHK入局。

2004年に『サラリーマンNEO』を企画。

以後全シリーズの演出を担当。

2011年には『劇場版サラリーマンNEO(笑)』の脚本・監督を務める。

2013年春、エンターテインメント番組部から異例の

レンタル移籍で、連続ドラマ小説『あまちゃん』の演出を担当する。

9月1日よりNHKエンタープライズ番組開発に出向。

10月25日(土) マスコミ青山会総会にゲスト出演!

マスコミ青山会総会の日程が決まりました。例年通り土曜日の開催です。

総会後の講演では、NHKディレクター吉田照幸氏をお招きしてお話を伺います。

開催概要

- 日時 14年10月25日(土) 16:20~20:30 (開場 16:00)
- 場所 ①総会・講演会(アイビーホール青学会館 3階「アロン」)
②懇親会(アイビーホール青学会館 2階「ミルトス」)
- 会費 7,000円(年会費2,000円+懇親会費5,000円+学生の懇親会参加費5,000円)
- 内容 ①総会・講演会 16:20~18:00 (会場 アイビーホール青学会館3階「アロン」)
②懇親会 18:30~20:30 (会場 アイビーホール青学会館2階「ミルトス」)

10月25日(土)
総会開催

- (※)お申込み ①FAXは同封の総会案内裏面に必要事項を記入後
03-5543-2216 (マスコミ青山会事務局)まで
②Eメールは、info@mc-aoyama.netまで 締め切り 10月10日(金)
③年会費&懇親会費のお振込み … 三菱東京UFJ銀行 築地支店(普) 0111738
マスコミ青山会 事務局長 武藤靖人(ムトウ ヤスト)

特別インタビュー

滝川クリステルさん（青学大仏文科卒）に聞く

「お・も・て・な・し」の秘密。



いまもつと目されている女性のひとり、滝川クリステルさんは本学仏文科のご卒業です。昨年の東京オリンピック・パラリンピック招致のプレゼンテーションでも、その華麗な姿が世界中に放映され絶賛されたことは、皆さまも記憶にあたりしいと思います。今回お忙しいなか、特別にマスコミ青山会のためにインタビューにお答えいただきました。

「どのような学生生活だったのでしょうか。」

「青学は大学からだったので、二年間の厚木生活の方がいろいろ楽しかったと思います。外の芝生の上でみんなでお昼を食べたり、周りになにもないところにキャンパスがありましたので、自然とお友達が集まりやすい環境でした。サークルは体育会系に入りましたが、厳しそうだったので、半体育会半サークル的なテニスサークルに入っていました。」

「まじめな学生だった？」

「ええ、まじめだったと思います(笑)。あまりザ・青学大生というようなイメージには染まっていなかったと思いますね。」

「学生時代はどんなことに興味があったのでしょうか。」

「大学を卒業したらすぐにフランスに行きたいと思っていました。当時ラポに通って自分で英語やフランス語を勉強していましたので、いろいろな国のかたと接していたんですね。」

「アナウンサーになるキツカケを教えてください。」

「アナウンサーというより、ワールドワイドなニュースを伝えるキャスターに憧れていました。でもいきなりは無理でしたので、アナウンサー試験を受けたんです。フランスというのがわたしのなかの大きなルーツなのですが、当時いちばん話題になっていた人がサッカーのトルシエ監督でした。そのトルシエ監督へのインタビューやサッカー番組の司会などをやっているうちに、ニュースジャパンへの起用が決まりました。」

「今年、動物保護のための財団をおつくりになりました。」

「一〇年ほど前からこの問題には興味がありました。ニュースジャパン時代にも動物虐待や弱者など、声を大にして言えない人たちがあまりに隅に追いやられている実態をみて、なんとかこれを伝えたいと思ったからです。日本は外国に比べてずいぶん遅れています。」

「動物に対する思いは、いつころから芽生えたのでしょうか。」

「フランスには当たり前のように周りに動物たちがいます。ペットや野性動物たちと共存した生活のなかで、自然と彼らの優しさや思いやりなどが生まれてきたと思います。日本もオリンピックの2020年までに「動物福祉先進国」と言えるようになりたいですね。」

「そこでオリンピックの話です。あのプレゼンテーションをみた多くのひとたちは、滝川さんの「お・も・て・な・し」にとっても感動しました。そのときのエピソードなどお話しください。」

「お話しがきたのは前年の年末か年明け早々だったと思います。当時の猪瀬直樹東京都知事と日本オリンピック委員会の竹田恆和会長から、どうしても女性でフランス語ができるかたが必要なので、ぜひ参加してくれないかとお話しがあったんです。最初はそんな大役は務まりません。」

「とお断りしたのですが、日本のために貢献できるならとお引き受けしました。」

「「おもてなし」を中心にプレゼンを組み立てようと考えたのは、滝川さんだったとお聞きしたのですが…」

「老若男女、日本のどんなところでも日本人は「おもてなし」の心を持っています。この心こそが、外国のかたが日本にきて感じられるもつとも大きなポイントではないかと皆さんにアピールしたんです。」

「あのジェスチャーは印象的でした。」

「とにかくこのことばを強調したかったので、プレゼンを指導してくださる先生たちといろいろお話しして決めました。最後に手のひらが開くのは、蕾が花を開くように、という意味を込めたことです。あれほど皆さんから好感を持たれて受け入れられるとは思っていませんでした。」

「爽やかな笑顔がとても素敵な滝川さんでした。本日はありがとうございました。」

一般財団法人
クリステル・ヴィ・アンサンブル

<http://www.christelfoundation.org/>

(同財団のHPより)

青学大理工学部では、理学系、工学系あわせて6つの学科があり在籍生も2,231名(うち女子439名)が在籍しています。研究内容も、自然科学の基盤となるサイエンスの最先端研究はもとより、広く社会に貢献することを目指す多彩なテクノロジー研究開発を推進しています。

オープンな雰囲気や教育システム、そして教員やそれを支えるスタッフ、1年生から大学院まですべての学生が同じ目線でもの言えるアットホームな教育・研究環境です。皆が輝く目、新鮮な発想をもち、また多くの学生がそこに感動を抱くことができる学びの場を目指して、つねによりよいカリキュラムづくりに取り組んでいます。(青学大HPより)



青山学院大学 理工学部
College of Science and Engineering

今回、この理工学部を卒業し、社会で活躍している理系女性、いわゆるリケジョの吉川裕美さんを訪ねてみました。吉川さんは、理工学部化学・生命科学科を卒業し、現在化粧品業界の(株)コーセーにお勤めです。



(現在は、日本橋の本社にお勤めの吉川さん)

青学大卒のリケジョ (理工学部化学・生命科学科卒)

(株)コーセー 吉川裕美さん (商品開発部 メイクアップ商品開発課)

「化学は、“本質”がわかるから楽しい」

「化粧品業界を選んだ理由は?」
高校時代から漠然と化粧品の開発をしたいとは思っていません。大学で化粧品の研究をしているところは少ないんですね。だから、早く就職したかったんです。コーセーは、若手にも早いうちからいろいろなチャンスをもたらえます。

「化学の楽しさを一言でいうと?」
たとえば、どうしてこのお茶は緑なんだろうと考えることが好きだったんですね。物事の本質を解明でき、答えがあることを勉強したり、まだ知られていない答えを求めたりすることが、化学の楽しさです。

「理系を志したきっかけは?」
青学は高校からだったのですが、高校のときの化学の授業がとても楽しく、実験をいろいろして、ださる先生だったんです。液体窒素でお花を瞬時に凍らせたり、見た目でももしろい授業をしてくださいました。テスト勉強でも、歴史は苦手でしたが、化学のことは友達に教えていました。



(研究所時代の吉川さんとスタッフたち)

「夢について教えてください。」
多くのお客さまが喜んでご利用いただけるような商品をつくることです。ロングセラーになり、ずっと長く愛用していただける商品を開発することですね。
「お若く素敵なリケジョの吉川さんでした。お忙しいなかありがとうございます。」

「自分が考えた商品が世に出るといってもいいですね。それがやりがいでもあります。お客さまが気に入ってくださり、口コミサイトに投稿していただいた感想などを読むと本当にうれしいものです。また、私の担当しているメイク製品分野は、トレンドの移り変わりが早いため、常に市場のニーズに合ったものを開発するよう心がけています。」

「今ほどのお仕事ですか。」
入社から5年間研究所のメイク製品研究室で、口紅やアイカラーなどの研究をしていました。化粧品の多くの原料の中から自分で色素や素材を選んで目標の色や使用感を作り上げていきます。
去年からは本社の商品開発部で、メイク商品の開発をしています。お客さまが求める化粧品の色や使用感などをリサーチし、その内容を元に私達が商品の目標を設定します。開発の難易度が高くなっても、良い商品を作るために最後まで諦めず、研究員と一緒に開発を進めていきます。

活動報告

今年の総会は、10月25日(土)です(詳しくは同封の案内チラシをごらんください)。

9月5日(金)、青山学院卒業生が経営する「赤坂marine-J80'sCAFE」にて、本年度初の若手交流会を開催いたしました。今年は例年に増して2014年度にマスコミ界に就職した新入社員が数多く参加され、とてもフレッシュな会となりました。冒頭は事務局員であるGoogleの中村全信氏から「Generation C - ソーシャルメディア時代の生活者行動とマーケティング戦略 -」と題した講演が行われ、その後の懇親タイムでは、デジタルネイティブと言われる若い世代ならではの、自らインターネットを駆使する中で感じているマスコミの将来性や今後会社で自分たちが出来ること、すべきことなどについて活発な意見が飛び交いました。一方で若手社員からは、現場の仕事が忙しすぎるためマスコミ関連の方々と交流する機会が少ないという意見もあり、事務局では今後さまざまな交流の機会を増やして行きたいと思っています。

マスコミ青山会のfacebook ページ(www.facebook.com/masscommiaoyamauniv)に最新情報をアップしていきますので、若手のみならず交流会ご興味をお持ちの方はぜひ「いいね!」してチェックしてください。

【若手交流会開催】



事務局長の武藤です。これからもこの若手交流会のように積極的に会員同士の交流をはかっていきます。事務局も若手がかなり増えてきました。学生の就職支援の成果も出てきています。皆さんもお気軽に参加して下さい。(事務局長より)

【マスコミQ&A】

今年で12回目を迎えるマスコミ業界を志望する学生のためのイベントです。

- 日時 10月4日(土) 13:00~16:30(12:30開場)
- 会場 青山キャンパス 17号館(17510教室)
- 内容 新聞・雑誌・放送・広告・IT業界で活躍するOB・OGによる業界説明と就職活動対策です。

■中村全信 masanobunakamura1978@gmail.com

青山学院大学マスコミ業界就職データ

| 業界 | 人数 |
|------------|------|
| 【新聞・出版・印刷】 | 72名 |
| 【放送・通信】 | 22名 |
| 【インターネット】 | 12名 |
| 【広告・制作】 | 97名 |
| 合計 | 203名 |

(2014年4月現在)



マスコミ青山会のホームページはこちらです。

<http://www.mc-aoyama.net>

【編集後記】

毎年、この会報を編集しているときは猛暑の真最中ですが、今年は例年より秋の訪れが早いようです。今号は奇しくも、滝川クリステルさんと吉川裕美さんという女性2名の特集になりましたが、彼女たちの言葉を聞いていると、これからの女性の活躍に大いに期待に胸が膨らみます。今年も無事会報を皆様のもとへ届けることができました。ご協力して下さいました皆様に改めて御礼申し上げます。

(編集担当 鈴木章・藤田翔太郎)
(e-mail info@mc-aoyama.net)